

ローカル・ガストロノミー協会加盟 申込書 (宣誓書)

ローカル・ガストロノミー協会

ローカル・ガストロノミー協会は、地域の食文化や歴史、風土を大切にすることはもちろん、地域の農産物を積極的に使うことによって、地域の大切な農地を守り、さらに観光資源化することによって地域経済の循環に貢献することを目的にしています。

ローカル・ガストロノミー協会の会員加盟には下記の趣旨に「賛同」していただくことが条件になります。

1. 地域の「いい食材」を積極的に使おう
 - 頑張っている農産・水産・流通業者を応援しよう
 - 地域の特産品や伝統野菜、雪室貯蔵の野菜等を積極的に使おう
 - 伝統製法の調味料を積極的に使って、伝統の技を残そう（復活させよう）
 - 加工品は価格の安さだけで決めるのではなく、質の高いものを使おう
2. 地域の風土・歴史・文化を学んで表現しよう
 - 雪国の食文化を多角的に学ぼう
 - 自県産の工芸品や製品などを積極的に取り入れて、地域をプレゼンテーションしよう
3. 「わざわざ来てよかった」と思ってもらえる料理を作ろう
 - 地域の風土を活かした料理を作ろう
 - 自分で発酵食・伝統食づくりを体験したり、食の大切さを実感しよう
 - 既存概念にとらわれず、新しい調理技術なども取り入れよう
4. 食べる人の笑顔と健康を考えよう
 - 原材料をすべて公開できるくらい、食のトレーサビリティを意識しよう
 - 添加物の入った調味料や加工品の使用はできるだけ避けよう
5. 情報を共有し合って、地域全体の食レベルを上げよう
 - 「仕入先は秘密」などと言わず、仕入先を共有したり、契約栽培などを推し進めよう
 - 食の勉強会やイベントに参加して、食について考える時間を積極的に作ろう
6. 自ら情報を発信して、地域の食ブランド向上に努めよう
 - 地域の食とローカル・ガストロノミーを積極的に発信しよう
 - ブランド力は身内から。自分の周りの人にも地域の食の素晴らしさを伝えよう
 - 「美味しい店を教えて」と聞かれた時は、ローカル・ガストロノミー協会加盟店を紹介しよう
7. 海外からの観光客に歓迎の意を表し、世界の人々にこの地域を知ってもらおう努力をしよう
 - 英語メニュー（または写真メニュー）やパブリック施設の英語表記を充実させよう
 - 下手でもいいので、英語など外国語で話してみよう
 - ベジタリアンやヴィーガンなどに対応できるように、勉強会などに参加しよう（努力目標）
 - ハラールに対応できるように勉強会などに参加しよう（努力目標）

私は、上記に賛同し、「ローカル・ガストロノミー協会」への加盟を希望します。

年 月 日

署名 _____